

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■ 水稻（種子）・三郷米麦採種生産組合 水稻優良種子の安定生産に向けた支援

恵那市の三郷米麦採種生産組合は、県内の重要な役割を担う水稻種子生産拠点の一つで、5品種の種子（種もみ）を生産している。

同組合は、昭和41年に創立されて以来、60年にわたり高品質で安定した種子生産に尽力してきた。その歩みは、岐阜県における水稻生産の基盤づくりに大きく貢献してきた歴史でもある。

創立60周年の節目を迎え、同組合は4月24日に記念大会を開催した。長年の功績に対して岐阜県知事表彰が贈られ、関係者がこれまでの歩みを振り返るとともに、今後の決意を新たにした。

令和8年度は約61ヘクタールの作付面積で、49戸の生産者が種子生産に取り組む計画となっており、堅実な生産体制は今も着実に受け継がれている。農業普及課では、優良種子の安定生産に向け、関係機関と連携し、圃場審査や巡回指導、栽培講習会を通じ、指導・支援していく。



【県知事賞授与の様子】

(地域支援係)